

生活情報科通信 06

2025.9.1 発行

生活情報科オープンハイスクール

▶▶▶ 7月31日(木)

＜中学生の感想より＞・沢山の体験などをさせてもらいすごく楽しかったです。すごく緊張していたけれど、優しく声をかけていただき、うれしかったです。進路の参考になりました。



親子ソーイング教室▶▶▶ 8月3日(日)

事前にエプロンを作らないといけなくて、裁断から仕上げまで全部自分で作った。なにもかも初めて。自分も作るのが曖昧なのに子供に教えられるのかという不安もありながら、自分にできることは教えてあげたいという気持ちで教えた。一緒に完成まで仕上げることはできたが、時間がオーバーしてしまった。それは自分が曖昧だったし、作り方をちゃんと理解してなかったからだと思う。これを機に次の課題が見つかった。それは教える責任感を持つこと。自分ができないのに相手に教えられるわけがない。今回の自分の行動をしっかりと理解し受け止めて、次はやり切った！と言えるようにしたい。



インターンシップ

キッズランドやちよ・キッズランドかみ・かすがこども園・ひよこ保育園・黒田庄こども園・加東みらいこども園・西脇ロイヤルホテル・多可町役場・みぎわ園・ヘアーピープル・津田歯科

料理長さんは たった 1 人で誰が何を担当するのかや宴会の中でアレルギーの有無や減量をしている人がいらっしゃるかを把握して、それを伝達していき、自分の仕事をしつつ、一人でしているとは思えない仕事の量で、その中で一つもミスがなく、早く正確にこなしていく大切さを学びました。このチームワークは誰か 1 人だけがしょうとしても出来るものではないから、私に 1 番必要なのに足りていない能力だと感じました。厨房や客室清掃、フロントなどそれぞれの部署のまとまりがあるからこそ全てが共有されていて、全てが 1 つになった時に、それぞれの視点で物事をみているからこそ、私達が最初感じていたホテルの清潔で非日常なおもてなしであふれた場所というイメージが定着できているのだと思いました。3 日間というとても短い期間でもお客さんじゃなく、同じ仕事をする人として教えて下さったり、関わって下さったのがとてもうれしかったし、しっかりと 3 日間やりとげなければならないという責任感ややる気につながりました。様々な視点で物事をみたり考えられた 3 日間でした。



梅吉亭一日シェフ・福祉交流会▶▶▶ 8月8日(木)



今回、仕込みから行い、量が多い分、分量などが分からず大変でしたが、いざ行ってみると楽しかったし、来てくださった方たちが美味しいと喜んでくださったので良かったです。試食会では、各担当の人しかできないという状況で待たせてしまいましたが、今回は、自分の担当が追いつかない時には、みんなで助け合うことができたので、スムーズに行えました。



近畿経済産業局 ▶▶▶ 8月17日(日)

大阪関西万博ー播州織 PRー

今回は、フランス館の隣、イベント会場で行いました。36 名参加しましたが、着替えの場所が狭く、使用できる時間も限られ、前回以上に厳しい状況でした。見かねたスタッフの方にも配慮していただき、みんなの協力によって最高のステージを演出することができました。

令和7年度兵庫県学校家庭クラブ連盟 第63回兵庫県学校家庭クラブ研究発表大会 第64回兵庫県高等学校家庭クラブ指導者養成講座

▶▶▶ 8月19日(火)

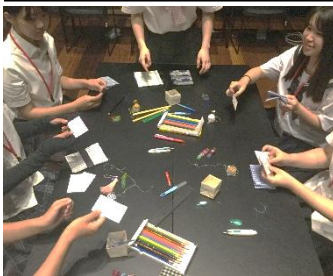


県学校家庭クラブ総会
県学校家庭クラブ研究発表大会
明石南・相生産業・宝塚東・兵庫
指導者養成講座
カードケース
経系タッセル
ハギレのレジンチャーム

生徒 70人
先生 20人参加



準備を含めたこの2日間で先輩方や参加された学校の発表などからたくさんのことを学ぶことができました。先輩方は急な対応にも先生と相談してスムーズに解決されていたり、参加された高校はとてもいろいろな地域活動をされていて、参加してみたいなという事がいくつかありました。



レジンチャームの作り方を教える時に、「これをこうして〜」って教えるのではなく「レジン液を〜」など明確に伝わる言葉を使わないと分かっていない人が多かったと思います。高校生だからなんでもわかる訳ではなく、しっかり丁寧に説明するべきだったなと思いました。学んだことは、他校の方と交流する時すごく楽しくて、私と共通の趣味があったり、共通のお友達がいたり、学校のことを知ることができたりなど、普段なら話すことの無い学校の方たちと話せたので、コミュニケーションを自分からとることは苦手だけど、今回で話していけば色々なことがわかって楽しいと気づいたので、何事でも自分からコミュニケーションをとっていききたいなと思いました。

経系班のワークショップの時に、播州織について質問をしていたのですが、経系のことについて、あまり詳しく知らなかったのが先輩が答えてくださいました。『経系とはどのようなものなのか』『西脇高校ではどのようなものを経系で作っているのか』などを、調べておけばよかったなと思いました。これからは、播州織について何を質問されても答えられるぐらい、日々の活動から播州織について知っておきたいなと思いました。

私は家庭クラブのお昼の集まりに参加した。2、3年生ばかりの中、1年生2人だけで、しかも班は別々になり各学校1人ずつが集まり1つのグループになって行った。そこで私たちの学校は、播州織を使ったワークショップなどの学校紹介をしながら、交流を深めることができた。普段は友達や先輩がいるから頼ってしまうところがある。でも1人になって気づけたことがある。それは責任を持つこと。先輩がいるから、友達がいるからって人に任せすぎるといざとなると、1人で行動できない。自分で考えて動く力、対応する力はとても大切だと学ぶことができた。この経験を活かし次の活動も考えて動ける人になりたい。

北播磨地域ビジョンフォーラム (小野エクラ)

▶▶▶ 8月22日(金)

高校生
ふるさと活性化事業
大賞を受賞



県家庭クラブ総会後、北播磨ビジョンフォーラムでのプレゼン発表やポスター制作に取りかかりました。当日は、播州織小物の販売も行いました。カードケースや巾着が人気でした。チェックマも2つ目、3つ目と買ってくださいる方も！